

01 教会ニュース

純粋キリスト教放送の新しい飛翔～
世界170余か国に送出しているGCN放送が斬新で役に立つ新番組を放送、視聴者の反応が熱い。

02 いのちのみことば

[霊の愛シリーズ15] 全き愛
愛だけが天国でもなくならないで永遠のものであり、心の割れをし
て霊の愛を心に耕すほどすばらしい天国に行ける。

03 企画特集

自分の限界を克服する秘訣
ある限界線を超えて生きていく人は、信仰も発展が速い。自分の限界
とどこから来て、どう打ち砕くべきか調べてみる。
支教会12月スケジュール

04 インタビュー

「来てみるともつとすばらしかった万民中
央教会！」
教会創立31周年を迎えて、海外17か国から訪問した祝賀客のうち、
フィリピンのキリスト教界の要人が万民中央教会を訪問した感想と証
しを聞いてみる。

万民ニュース

第133号 2013. 11. 24.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7042

www.manmin.org

「新鮮で役に立ちます。見れば見るほど楽しくなります！」

GCN放送の改編、新番組が人気放映中

GCN放送の新しい飛翔～

GCN放送の改編、新番組が人気放映中



GCN放送のアメリカ放送室があるエンパイアステートビル

2005年10月、神の摂理のうちにただ信仰によって開局し、全世界をカバーする影響力のあるキリスト教放送と認められているGCN放送が、終わりの時の摂理を実現するために新たな飛翔をした。2013年10月14日から新しいロゴとともに順次放映されているGCN放送の新番組は神様に喜ばれるまことの子どもになる道を提示している(写真は新番組広報ポスターの一部)。

聖潔の福音と神の力を全世界に伝える純粋福音放送、GCN放送が教会創立31周年を迎えて新たな飛翔をした。財政と技術、人材が十分備わってなくても、ただ信仰によって世界宣教に努めてきたGCN放送が、終わりの時の摂理を実現するために、父、子、聖霊の神を意味する三本のオーロラの光と全世界を聖潔の福音で覆っていくビジョンを表すロゴを新しくして、お茶の間に届けられている。

これとともに10月14日から多彩な新番組を放送し、好評を得ている。神様が下さったコンテンツで編成された19の新番組は、これまで教会の各分野で献身してきた主のしもべと働き人たちが進行役を担当し、さらに視聴者の関心を集めている。

GCN放送の理事長であり万民中央教会の堂会長、イ・ジェ록牧師の説教番組「私たちの人生のとしび」と同牧師の祈りの内容を入れた映像「安らぎ」、新しいシリーズが始まった「イ・スジン牧師のテレビ説教」、神の愛で一日を勝利できるイ・ヒジン牧師のショートメッセージ「主を想う」、見えない霊の世界を手で触ったように解き明かすイ・ヒソン牧師の「霊の世界」、クリスチャンの聖なる生き方のための礼拝方法

と難解聖句をわかりやすく伝えてくれるシン・ドンチョ牧師の「いのちの水」、マンミン国際神学校校長チョン・グヨン牧師の「MIS講義」などの番組は視聴者の霊的水準を一段階引き上げてくれるだろう。

また、ハン・ジュギョン賛美宣教師の「賛美さげます」では、神様が下さったマンミン賛美を学びながら、呼吸法と発声法も習得できる。イ・ジン執事が進行役の「香り」では、マンミン賛美の意味とともに基礎的な音楽理論、伴奏法を教えられる。ハン・ドンシク、ユ・シナ執事の子ども番組「なかよしかわいいリズム体操」も視聴者に愛されている。

また、世界クリスチャン医師ネットワーク(WCDN)を通して神の力あるわざを医学的に証明する「WCDN」、礼拝をささげる身だしなみと心構えを学ぶ「美しい礼拝」、みことばを日々の生活に適用する「黙想」、マンミン支教会のニュースを現場から生き生きと伝える「私たちは一つ」が新しく編成された。

この他にも、グローバルな大教会の聖徒として知っておくべき基礎文法と日常会話を学べる「English」と「1分英語」もある。また、現代人の身体のバランスと間違っただけの習慣を正してくれる「からだも元気、心も元気」、フラワーアレンジ

メントを初・中・上級クラス別に指導する「フローリスト」、365日天気情報「きょうの天気」などの教養番組も強化された。

新番組が電波に乗りながら「放送時間に合わせてテレビの前で待っています」という視聴者の熱い反応が伝えられている。「『いのちの水』で信仰の基本を固めて知恵と力をいただき、幸いな信仰の旅を続けていけるから感謝です」(ムン・テギユ)、「『香り』で音楽の専門知識を扱ってくれるから、とても役に立ちました。一生懸命練習すれば、私もいつか自分で伴奏しながら賛美できるという夢に、今からワクワクしています」(匿名)

GCN放送は全世界のすべての民に救いの摂理を知らせ、神の栄光を宣べ伝えるというビジョンをもって、2005年10月10日に開局した。これまで神の摂理のうちに世界のあちこちで開催された海外連合大聖会をはじめ、万民中央教会の各種礼拝を衛星生中継してきた。何よりいのちのメッセージと神の力あるわざと水準高いキリスト教文化を多様な番組に製作し、世界170余か国に伝えている。インターネット(www.gcnetv.org)とモバイル(m.gcnetv.org)でも、どこにいても24時間視聴できる。なお放送は現在韓国語のみである。

全き愛



堂会長イ・ジェロク牧師

「愛は決して絶えることはありません。

預言の賜物ならばすたれます。

異言ならばやみます。

知識ならばすたれます。

……こういうわけで、

いつまでも残るものは

信仰と希望と愛です。

その中で一番すぐれているのは

愛です。」

(第一コリント13:8-13)

私たちが永遠の天国に入るとき、ほしいものを一つだけ持っていけるならば、何を持っていくべきでしょうか？

天国は足で踏んで歩く道さえ黄金で作られています。また、神様が愛する子どもたちの心を推し量って備えられた天国の家は、この地上のものとは比べられないほど美しく、尊い黄金と宝石で作られているのです。ですから、高価な黄金や宝石は天国に持っていく必要がありません。ただし、永遠の天国に入って神様と愛を分かち合うために、どうしても必要なものがあります。それはこの地上に生きている間、私たちの心に耕した霊の愛です。

1. 天国でも永遠に価値ある愛

コリント人への手紙第一13章8-10節に「愛は決して絶えることはありません。預言の賜物ならばすたれます。異言ならばやみます。知識ならばすたれます。というのは、私たちの知っているところは一部分であり、預

言することも一部分だからです。完全なものが現れたら、不完全なものはずたれます。」とあります。預言や神様を知る知識は御霊に属するものですが、なぜ天国に入ればなくなるのでしょうか？

霊の世界である天国は完全なところでは。私たちがこの世で預言しても、やがて天国で知って悟るのは次元が違います。天国では神様と主のお心をよく知っているの、預言がそれ以上必要ではありません。

それなら、人の異言はどうでしょうか？ これもそうです。この地上では、国や民族、地域によって別の言語を使っているの、話をするには互いに通じにくいところがあります。ですが、天国に行けば言語が一つだから理解できない心配がなく、良い心がそのまま伝えられるので、誤解や偏見がありません。

知識も同じです。この地上では、神様を知るために熱心に学びます。どうすれば救われて、神様のみこころが何か学びますが、これは天国に行くのに必要な、極めて一部分にすぎません。

このように預言や異言、知識などは天国に行くために一時的に必要なだけです。したがって、天国について知っていることも重要ですが、「霊の愛」を心に耕すことのほうがさらに重要です。罪を捨てて心の割礼をして、霊の愛を実践するほど、よりすばらしい天国に行けるからです。

2. 天国で完全に感じられる愛

コリント人への手紙第一13章11節に「私が子どもであったときには、子どもとして話し、子どもとして考え、子どもとして論じましたが、おとなになったときには、子どものことをやめました。」とあります。

天国には闇や心配、憂いがないし、善と愛だけがあるので、思いきり愛を表現して仕えられます。このように、肉の世界と霊の世界には明らかに違いがあるのです。もちろんこの地上でも、信仰の量りに応じて話をして、悟って、思うことが違ってきます。

ヨハネの手紙第一2章では、信仰の各段階を子ども、小さい者、若い者、父にたとえています。子どもや小さい者の信仰の人は、霊的に深みのあるみことばはあまり悟れなくて、みことばを守り行う力が少ないです。そのうちに若い者の信仰になって、さらに成長して父の信仰になれば、神様の愛を感じて悟る次元も変わってきます。みことばどおり行える力も大きくなって、闇の勢力とも戦っ

て勝つことができます。

しかし、いくらこの地上で父の信仰になったとしても、肉の限界があるために、天国に比べるならやはり子どものようです。私たちがこの地上に生きている間、天国を信じて望むほど天国が美しいところだということはわかりますが、どれほど美しいのか、その光がどれほどきらびやかなのか、完全に悟るのは難しいのです。しかし、天国に行けば、その時は無限に広くて神秘的な霊の世界と、すべてのものが動かされる原理も、いくらでも悟れます。

この地上の人生は永遠の天国の人生を準備する過程だと言えます。永遠の天国に比べれば、この世は影のようなものなので、すぐ過ぎ去ります。永遠の世界がどうなのか察するようにする影であるだけで、決して永遠ではありません。影のような人生が過ぎれば、その時には実体である天国がはっきりと現れます。

それで、コリント人への手紙第一13章12節に「今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ていますが、その時には顔と顔を合わせて見ることになります。今、私は一部分しか知りませんが、その時には、私が完全に知られているのと同じように、私も完全に知ることになります。」とあるのです。

使徒パウロが愛の章を記した時代は約二千年前です。当時、鏡は銀、青銅、鉄などで作られていて、今のようにはっきり映らなかったのが「鏡にぼんやり映る」と書いてあるのです。ところが、やがて天国に入れば、詳しいところまでもはっきり見て、肌で感じて、霊的なことを明らかに知ることができます。

霊であられる神様について「神様はこんなに大いなる偉大な方なんだ。言葉で形容できないほど美しいお方だな」と知ることになるのです。

3. 信仰、希望、愛の中で一番すぐれているのは愛

私たちの信仰が成長することにおいて、信仰と希望は非常に尊いものです。信仰があつてこそ救われて天国に行き、神の子どもになることができますから。また、信仰があるなら、当然希望を持つようになります。希望を持つことによって、よりすばらしい天国を攻めて行けるし、聖められるために努めて、熱心に忠実に仕えます。

このように、信仰と希望は天国に行くその日まで、どうしても必要なものです。それなのにコリント人への手紙第一13:13に「こ

ういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です」と記されている理由は何でしょうか？

第一に、信仰と希望は人間耕作を受けている間、必要なだけで、天国では霊の愛だけが残るからです。

まことに信仰があつて、神様を愛するなら、歳月が流れるほど、信仰が大きくなるほど、天国への希望がさらに大きくなるはずで。時間が経つほど胸にしみるほど主にお会いしたくなります。

このように天国への希望がある人は、この地上で狭くて険しい道を歩んでも「つらい、苦しい」と言わないし、どんな誘惑にも揺さ振られません。ところで、最終目的地である天国に行けば、それ以上見ないで信じる信仰が必要ないし、希望もやはり必要ではありません。ただ愛だけが天国で永遠に続くので、愛が一番すぐれていると書かれているのです。

第二に、信仰によって天国を所有しますが、愛がなければ最もすばらしい場所、新しいエルサレムに入ることができないからです。

私たちは信仰と希望をもって行ったほど、よりすばらしい天国に入れます。みことばどおり生きて、罪を捨てて美しい心に変えられたほど霊の信仰が与えられて、この信仰の量りに応じてパラダイス、一天層、二天層、三天層、新しいエルサレムに住まいが分けられます。

新しいエルサレムは、信仰によって全き愛を心に耕した神の子どもたちに与えられる天国であり、愛の結晶体です。私たちが主に似せられて、新しいエルサレムにとどまるためには、主が行かれた道について行くべきですが、その道がすなわち愛なのです。この愛があつてこそ、私たちに御霊の九つの実と八つの幸いが臨んで、主のお心に似せられていけます。私たちに信仰があるとき天国に行けて、希望があるとき罪を捨てられます。信仰と希望は確かに必要なものですが、全き愛がある時こそ新しいエルサレムに入れます。それで、愛が一番すぐれていると書いてあるのです。

愛する聖徒の皆さん、

コリント人への手紙第一13章に記されている霊の愛を完全に所有して、神様に喜ばれる幸いな聖徒になられますように、主の御名によって祈ります。



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



Global Christian Network

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



World Christian Doctors Network

Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・ゲンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロク区クロク3ドン235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048

自分の限界を克服しよう!

「限界」とは「物事の、これ以上あるいはこれより外には出られないというぎりぎりの範囲、境、限り。」という意味である。人は自分の能力以上のことを要求されると「これ以上できない」という限界を感じる。だが信仰にあっては限界はない。神様は全知全能だし、信じる者にはどんなことでもできるからだ。それでは、どうしたら自分の限界を克服できるだろうか?

1 自分の限界とは自分で定めたもの

人はなぜ限界を感じるのだろうか? これは自分で「私はこれ以上できない」と限界点を定めたからだ。マタイの福音書9章23節には「するとイエスは言われた。『できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。』』とある。したがって、自分の限界とは人の思いと深い関連があるということを知り、「私は主にあってどんなことでもできる」という信仰の思いに変えなければならぬ。

そして、最善を尽くして自分の限界に挑戦する努力がなければならぬ。自分のほうでみことばを武具として身につけるとともに、火のように祈って努力していくとき、神様は大きい恵みを下さり、聖霊様に助けられて限界を克服できるように、さらに強くしてください。現実には不可能なように見えても、やればできると信じて挑戦するとき、全能の神様が助けてくださるので、限界をはるかに超えて十分できる人になるのだ。

2 自分の限界に達した時に現れる現象と克服する方法

●すべてにおいて肯定的な心を持って神様により頼む
二人が同じ目標に向かって走って行くでしょう。この時、「できる」という人と「できない」という人の結果は全く違う。「できる」という信仰の告白がまさに信仰の出発点で、神様が望まれる心であり、限界を克服する原動力になるからだ。

すべてにおいて肯定的な心を持って、神様により頼まなければならない。そうでなければ、気を落として疲れてしまう姿、「だめだ」という否定的な心と思いが、また別の限界となる。ある状況に置かれたとき、こんな心と思いになってしまったのではないかチェックしてみて、喜びと感謝をもって克服しなければならないだろう。

もし否定的な思い、すなわち「できない」という肉の思いが先に立って気を落とすなら、その段階を超えられない。それだけでなく、走って行けるように力づけられることもできない。どんな状況でも気を落さないで、否定的な思いを捨て、信仰によって喜んで感謝しなければならない。この時、神様が恵みを下さって変えられるのだ。

●主への深い感謝があるべき
今日は世に罪と悪がはびこっていて、主のからだなる教会の敷居さえ越えて入ってきている。まことに神様を愛する牧会者は聖徒たちが罪に染まらないように守るべきであり、罪に染まった教会の信者が悔い改められる恵みと憐れみを引き下さなければならない。主が十字架の愛と祈りで手本を見せられたとおりに、涙の求めと犠牲でその公義を積み重ねなければならない。

このように神様がともにおられる牧会者のとりなしの祈りを通して、主はすべての人が救われることを願われ、美しい天国に導いておられる。だから「私も変えられる」という信仰の告白が出てくるしかないのだ。もしいまだに「私はだめだ」という思いがあるなら、その理由は自分の心の中に深い感謝がないからだと悟らなければならない。したがって、神の愛、主の愛、牧者の愛を悟って、信仰によってよ

り頼み、さらに深い感謝の祈りをささげて心を変えていけば、すみやかに変えられる力が臨むようになる。

●火のような祈りで限界を超える
もし祈っているのに変化が遅いなら、それは火のような祈りがなかったからだと悟らなければならない。火のような祈りがあってこそ自分の限界を超えられるように強くされるのに、そうでないから、それ自身が限界になり、変化が遅いのだ。

初めは切に祈るが、祈りの時間の中頃か後半になれば、同じ言葉を繰り返して、居眠りしたり雑念にふけったりして「早く終わったらいいのに。疲れた」と思うなら、祈りの限界を超えられないのだ。毎日祈っているといいながらも、肉の思いにとらわれてむぎむぎと自分の限界を受け入れ、まともに祈れないのが習慣になったりもする。

これを克服するには、祈るという行いだけを重要視するのではなく、変化の目標を決めて、毎日毎日火のように祈る習慣に変えなければならない。これとともに祈りをやめないとき、上から神の恵みを与えられて強くされ、どんな限界もはるかに超えられるのだ。

神の御子であるイエス様も、汗が血のしずくのように地に落ちるほど、苦しみもだえていよいよ切に祈られた(ルカ22:44)。まして私たちはどう祈るべきだろうか。ルカの福音書18章に記されている不正な裁判官のたとえでわかるように、答えられる時までいつでも祈るべきであり、失望してはならないだろう。

ところで、火のように祈れないのは、それほど慕う心が少ないからだということを知らなければならない。本当に慕うなら、身と心と思いとまことを尽くして、切なる心をもって、変えられるために火のように祈るしかなくなる。自分を発見しようと祈って努力していくとき、その心を知っておられる神様が悟りを下さって、発見できるようにしてください。だから、火のように祈って、信仰によって行っていけば、毎日毎日変化の喜びと幸せを体験するようになる。

12月支教会スケジュール

12月 8日(日)	東京田端万民教会	特別いやし集会(講師:鄭庚泰牧師)	12月 23日(月)	舞鶴万民教会	クリスマス集会(講師:金マルコ牧師)
12月 14日(土)	別府万民教会	権能いやし聖会(講師:加藤勲牧師)	12月 23日(月)	名古屋万民教会	クリスマス祝会(講師:時國みや子牧師)
12月 18日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳スズキ牧師)	12月 29日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ビョンラン牧師)
12月 21日(土)	大阪万民教会	クリスマス集会(講師:金マルコ牧師)	12月 29日(日)	沖繩万民教会	権能いやし聖会(講師:山下好美牧師)

「美しい教会に来て、 多くのことを学んで行きます」

教会創立31周年を迎えて、海外17か国から万民中央教会を訪問した。特にフィリピンからは教団総会長、牧会者協会総会長、神学校総長など重要な職についている人々が訪問して目を引いた。彼らに万民ニュース取材チームが会って話を聞いた。



堂会長イ・ジェロク牧師と霊的な話をした後、聖霊に満たされた礼拝をささげたフィリピンの牧会者(写真1,2)。左からエリバルト・カバオバオ牧師、セルソ・M・サンホセ牧師、エピファニオ・バルセロン牧師、ロベルト・A・ネリ牧師、マリオ・G・ロレンテ牧師、マヌエル・R・ブエンスセソ牧師、マリオ・ロブレス牧師(写真3)。

Q 万民中央教会を訪問された感想をお願いします。

セルソ・M・サンホセ牧師 (独立教団総会長協議会会長)

私は今回が三回目の訪問ですが、教会組織が非常に立派です。教会内の多くの部署の働きをはじめとして、芸能委員会のプレイズ&ワースhip、GCN放送とイ・ジェロク先生の多様な信仰書を通して全世界を一つにしていって宣教の働きが非常に素晴らしいです。

また、聖徒の信仰生活のためにたくさんのシャトルバスを提供して、書店、食堂をはじめ老人療養施設などに至るまで、細やかに仕えておられるイ・ジェロク先生の宣教マインドにとても感動しました。特に謙遜と仕えて信仰者の手本になっておられるので、聖徒の皆さんが堂会長先生を信頼して、神の国の柱として成長している姿は見ていて非常にいいなと思いました。

Q 「2001年イ・ジェロク牧師招へいフィリピン連合大聖会」とはどんな聖会だったのですか？

ロベルト・A・ネリ牧師 (カヴィテ州キリスト教牧会者協会総会長)

この聖会は2001年9月26日から四日間、開催されました。フィリピンで9月は台風が来る時期ですから、フィリピンの牧会者はとても心配しました。しかし、聖会の前、報道機関とのインタビューでイ・ジェロク先生が聖会は成功するだろうと言われたとおり、神様はその御力で実際にそうなるようにしてくださいました。台風が避けていき、聖会期間は雨が降らなかつただけでなく、月を取り巻いている

丸い虹まで見せてくださいました。

そして、説教後、講壇の上でして下さる祈りで数えきれない人がいやされて、神様に大いに栄光を帰したのです。その時、数多くの牧会者が不思議とし、神の力あるわざを見て驚き、イ・ジェロク先生とともにおられる神様をさらに信頼するようになりました。その後、聖会を助けた教会がリバイバルして、聖潔の福音はフィリピンに広がっています。

Q 先生は今回の訪問でとても祝福されたとお聞きしましたが、

マリオ・ロブレス牧師 (フィリピン宣教神学校総長)

万民中央教会を訪問したこと自体が祝福です。ですが、何より最も大きい祝福は、神様がともにおられる堂会長イ・ジェロク牧師にお目にかかって、祝福の祈りを受けたことでしょう。大教会の堂会長先生ですが、非常に親切でへりくだった姿に感動しました。

私たちに心の底から配慮して仕えてくださる聖徒さんの良い行いと、霊とまことによって礼拝をささげている姿も印象的でした。これらすべてのことは、堂会長先生が手本になってみことばどおり行い、宣べ伝えておられる真実の説教によってできたことだと思います。私は神学校総長として、聖潔の福音を教授たちにまず伝えた後、神学生に教えたいです。また、PMF(フィリピン・ミッションナリーフェローシップ)教団の副総会長として、教団にも伝えたいと思っています。

Q 神の力の込められたムアの甘い水でいやされたとのことですが、

マリオ・ロブレス牧師 (GMA地域独立教団総会長)

イ・ジェロク先生がソウルで祈ってくださったのに、遠く離れた全羅南道ムア郡にある海辺の塩辛い水が甘い水に変わった出来事は、まことに大なる神の力あるわざです。これは心がきよい神の人なのでできたことだと思います。また、ムアの甘い水が入っている水族館で海水魚と淡水魚が共生しているのを見て、本当に素晴らしいと思いました。神様は本当にできないことのないお方です。

私は2011年、1か月間、のどの痛みが非常にひどかったのです。当時もソウルの万民中央教会を訪問して、ムアの甘い水を飲んだ後、痛みが完全になくなりました。今回はムアの甘い水に身を浸したとき、突然背中と肩が熱くなる体験をしながら、その部位の痛みが完全になくなりました。ハレルヤ!

Q 堂会長イ・ジェロク牧師の著書を読んでみられましたか？

マヌエル・R・ブエンスセソ牧師 (マニラ・バサイ地域牧会者協会会長)

私は『信仰の量り』と『乳と蜜の流れる地』『逆らう人生と聞き従う人生』を読みました。その中で『信仰の量り』はとても感銘深かったです。この著書は神様が「わたしが聖であるから、あなたがたも、聖でなければならぬ」と言われたとおり、主の聖なる心に似せられていくほど信仰が成長することを強調しています。

イ・ジェロク先生の著書を読んで、完全に主日を守ること、自分を捨てて聞き従う生き方などが何か、神様のみこころをはっきり知るようになりました。宝石のようなみことばがぎっしり込められた先生の信仰書を、私は周りの牧会者と聖徒たちに伝えています。

Q ダニエル徹夜祈禱会に参加された感想はいかがですか？

エピファニオ・バルセロン牧師 (カヴィテ州ダスマリニャス市牧会者協会会長)

毎日夜9時にダニエル徹夜祈禱会があるということに驚きました。また、祈禱会が始まる前にもう来て準備をしている聖徒さんと、老若男女が集まって一緒に主を呼び求めて祈る姿などはとても印象深かったです。私は祈っているうちに聖霊の油注ぎを熱く体験しました。心に言葉で言えない平安が臨んで、熱い感動が押し寄せてきました。私たちの教会も祈禱会の時間を増やして、もっと祈ろうと思います。

Q 教会創立31周年記念祝賀公演はいかがでしたか？

エリバルト・カバオバオ牧師 (カフィリピン宣教協会総会長)

いろいろな芸能チームの団結と秩序、若い人たちの主に向けられた愛と熱情が大したものでした。華やかな舞台と衣装、小物など、一般の放送より素晴らしくて、作品はプロの出来ばえでした。時間と物質を投資して、まことを尽くさずには、こんな素晴らしい公演ができないだろうと思います。他のどこでも見たことがない世界的な水準でした。クリスチャンが望んでいる天国をよく表現してくれて、天国の美しさと清さと華やかさを見ながら、天国は本当に聖なる聖徒が行く所なのだ実感しました。これを通して「さらに聖なる生き方をしよう」と決心しました。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目7-26
T) 0867-72-7276

・イエス・キリスト銚田万民教会
〒311-2102 茨城県銚田市台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沼津万民教会
〒410-0802 静岡県沼津市土土町6第一ビル2F
T) 055-952-6861

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472